



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所 東証一部
 コード番号 4694 URL http://www.bml.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 健介
 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)山下 勝司 (TEL)03(3350)0111
 問合せ先責任者 企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	54,623	3.1	4,446	6.4	4,599	5.3	2,735	12.5
27年3月期第2四半期	52,960	5.8	4,180	△14.1	4,368	△14.4	2,431	△17.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,956 百万円 (13.3%) 27年3月期第2四半期 2,609 百万円 (△19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	128.77	128.35
27年3月期第2四半期	114.49	114.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	96,258	64,084	63.6
27年3月期	93,595	61,968	63.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 61,214 百万円 27年3月期 59,213 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
28年3月期	—	30.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,500	2.0	7,100	1.8	7,550	0.3	4,300	11.0	202.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一 社、除外 一 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	22,007,363株	27年3月期	22,007,363株
② 期末自己株式数	767,822株	27年3月期	767,761株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	21,239,555株	27年3月期2Q	21,238,102株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国では、急速な高齢化の進展や医療の高度化を背景に国民医療費が過去最高を更新し、今後も増加が見込まれていることから、各種の医療制度改革が実施され、医療費抑制に向けた様々な取り組みが行われております。

受託臨床検査業界におきましては、今年度は2年毎に実施されている診療報酬改定の年度にあらず、検体検査に係る保険点数（公定価格）の引き下げはなかったものの、激しい業者間競争が続いていることから、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高54,623百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益4,446百万円（前年同期比6.4%増）、経常利益4,599百万円（前年同期比5.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,735百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

臨床検査事業の売上が堅調に推移したことから、業者間競争による価格下落や首都圏ラボを中心とした人員・設備の増強等に伴う経費増加を吸収し、前年同期比で増収増益となりました。

以下に事業別の概況をご報告いたします。

臨床検査事業につきましては、引き続きクリニック市場の開拓強化を図るとともに、大型施設へのFMS/ブランチラボ方式（検査機器・システムなどの賃貸と運営指導/院内検査室の運営受託）による提案営業、既存ユーザーへの深耕営業を進めてまいりました。この結果、臨床検査事業の売上高は、前年同期比2.9%の増収となりました。

その他検査事業につきましては、食品衛生事業において、(株)BMLフード・サイエンスで食品衛生コンサルティング事業が順調に推移いたしました。また、新検査センターを昨年5月に稼働させ、効率的で高品質な検査体制の構築に取り組んでおります。これらにより、売上高は前年同期比3.6%の増収となりました。

以上の結果、検査事業の売上高は51,893百万円と前期比2.9%の増収となりました。

医療情報システム事業につきましては、診療所版電子カルテ「クオリス (Qualis)」と「メディカルステーション (MS)」のラインアップにより、引き続き新規契約の獲得と既存ユーザーへのリプレースを推進し、売上高は前年同期比9.8%の増収となりました。

その他事業につきましては、(株)岡山医学検査センターの調剤薬局事業の売上が伸びたことにより、その他事業全体の売上高は前年同期比4.4%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産96,258百万円（前期末比2,663百万円増）、純資産64,084百万円（前期末比2,116百万円増）、自己資本比率63.6%（前期末比0.3%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では、流動資産で現金及び預金が3,040百万円増加し、固定資産でのれんが493百万円減少しています。負債の部では流動負債で支払手形及び買掛金が917百万円増加しております。また、純資産の部では利益剰余金が1,991百万円増加しています。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ5,583百万円増加し、31,948百万円となりました。各活動区分別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,140百万円の資金収入（前年同期比3百万円収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,679百万円の資金支出（前年同期比1,536百万円支出減）となりました。これは主に、前年同期において連結の範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出が2,167百万円発生しましたが、当第2四半期連結累計期間は同様の支出がなかったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,575百万円の資金支出（前年同期比97百万円の支出増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、期初の予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方
法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,024	34,064
受取手形及び売掛金	18,989	19,439
商品及び製品	171	218
仕掛品	545	587
原材料及び貯蔵品	1,780	1,801
その他	2,360	2,260
貸倒引当金	△95	△98
流動資産合計	54,775	58,274
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,102	13,071
その他(純額)	15,886	15,599
有形固定資産合計	28,988	28,670
無形固定資産		
のれん	1,927	1,434
その他	2,756	2,653
無形固定資産合計	4,684	4,087
投資その他の資産		
その他	5,259	5,324
貸倒引当金	△112	△99
投資その他の資産合計	5,147	5,224
固定資産合計	38,819	37,983
資産合計	93,595	96,258
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,369	14,286
未払法人税等	1,039	1,670
その他	10,851	9,759
流動負債合計	25,260	25,716
固定負債		
役員退職慰労引当金	159	164
退職給付に係る負債	3,304	3,343
その他	2,901	2,949
固定負債合計	6,366	6,456
負債合計	31,626	32,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,646
利益剰余金	46,485	48,477
自己株式	△1,243	△1,243
株主資本合計	57,934	59,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480	528
退職給付に係る調整累計額	798	759
その他の包括利益累計額合計	1,279	1,288
新株予約権	118	118
非支配株主持分	2,636	2,751
純資産合計	61,968	64,084
負債純資産合計	93,595	96,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	52,960	54,623
売上原価	33,654	34,812
売上総利益	19,306	19,811
販売費及び一般管理費	15,125	15,365
営業利益	4,180	4,446
営業外収益		
不動産賃貸料	31	33
その他	216	174
営業外収益合計	247	207
営業外費用		
支払利息	28	25
不動産賃貸原価	17	16
その他	12	12
営業外費用合計	58	54
経常利益	4,368	4,599
特別利益		
固定資産売却益	41	3
その他	0	-
特別利益合計	41	3
特別損失		
固定資産除却損	55	9
契約変更による精算金	316	-
その他	2	0
特別損失合計	374	10
税金等調整前四半期純利益	4,036	4,592
法人税、住民税及び事業税	1,515	1,670
法人税等調整額	△82	△25
法人税等合計	1,433	1,645
四半期純利益	2,603	2,947
非支配株主に帰属する四半期純利益	171	212
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,431	2,735

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,603	2,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	48
退職給付に係る調整額	3	△38
その他の包括利益合計	5	9
四半期包括利益	2,609	2,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,438	2,744
非支配株主に係る四半期包括利益	171	212

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,036	4,592
減価償却費	2,408	2,307
のれん償却額	494	493
支払利息	28	25
売上債権の増減額(△は増加)	△943	△439
たな卸資産の増減額(△は増加)	△162	△111
仕入債務の増減額(△は減少)	1,104	917
未払消費税等の増減額(△は減少)	638	△902
契約変更による精算金	316	-
その他	510	254
小計	8,432	7,137
利息の支払額	△28	△25
法人税等の支払額	△2,008	△1,078
契約変更による精算金の支払額	△316	-
その他の収入	59	107
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,137	6,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,139	△1,237
定期預金の払戻による収入	2,235	1,098
有形固定資産の取得による支出	△1,599	△955
無形固定資産の取得による支出	△416	△534
有形固定資産の売却による収入	107	34
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,167	-
関係会社出資金の払込による支出	△132	-
その他	△103	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,215	△1,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△773	△744
配当金の支払額	△637	△743
その他	△66	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,477	△1,575
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,444	2,886
現金及び現金同等物の期首残高	24,649	29,061
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	271	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,365	31,948

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

検査区分		前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業					
	生化学的検査	20,807	39.3	22,814	41.8	9.6
	血液学的検査	4,265	8.1	4,857	8.9	13.9
	免疫学的検査	10,566	19.9	11,020	20.2	4.3
	微生物学的検査	2,962	5.6	3,033	5.5	2.4
	病理学的検査	3,490	6.6	3,618	6.6	3.7
	その他検査	6,511	12.3	4,648	8.5	△28.6
	(臨床検査事業小計)	48,604	91.8	49,992	91.5	2.9
	その他検査事業	1,834	3.4	1,900	3.5	3.6
検査事業小計	50,439	95.2	51,893	95.0	2.9	
医療情報システム事業		1,830	3.5	2,009	3.7	9.8
その他事業		690	1.3	720	1.3	4.4
合計		52,960	100.0	54,623	100.0	3.1

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 臨床検査事業のその他検査に含まれていた一部検査は、当連結会計年度より、生化学的検査等の各検査事業項目に振り分けております。